

視唱・音楽実技試験課題について

2020年8月1日

視唱と演奏実技

- (ア) 視 唱 16小節程度の新曲視唱
(イ) 演奏実技 (A～Gの中から1つ選んで受験すること)
- A ピアノ
 - B オルガン
 - C 電子オルガン
 - D 弦楽器 ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス・
ハープ (グランドハープのみ)
 - E 管楽器 フルート・オーボエ・クラリネット・サクソフォーン・
ファゴット・ホルン・トランペット (コルネットでも可)・
トロンボーン・ユーフォニアム・チューバ
 - F 打楽器 小太鼓・マリンバ
 - G 声楽

演奏実技試験内容

- * 楽曲はすべて暗譜で演奏し、くり返しはしない。
- * 弦楽器・管楽器・打楽器は伴奏なしで行う。
- * ※B(1)・C・D・E・F・Gの受験生は、ピアノの演奏試験は行わない。

A. ピアノ 下記のソナタの中から1曲選び、その**第1楽章**を演奏する。

*ハイドン Hob.XVI/27 ト長調

Allegro con brio



*ハイドン Hob.XVI/34 ホ短調

Presto



*ハイドン Hob.XVI/G1 ト長調

Allegro



*モーツァルト K. 545 ハ長調

Allegro



*ベートーヴェン Op.49 No.2 ト長調

Allegro, ma non troppo



- B. オルガン (1) 《オルガンで受験する場合》自由曲
 (2) 《ピアノで受験する場合》バッハ作曲インヴェンションより任意の1曲

- C. 電子オルガン 任意の楽曲。ジャンルは問わない。
 使用機種は、**ELS-02C**とする。

- D. 弦楽器 調弦を自分でできるようにしておくこと。
 《ヴァイオリンの場合》
 (1) **C dur** (ハ長調) の音階* を演奏する
 (2) 任意の楽曲。
 以上(1)(2)を演奏する。

*音階



《ヴァイオリン以外の弦楽器の場合》
 任意の楽曲。

入学試験で演奏された曲目例 (ヴァイオリン)

J. B. アッコーライ	コンチェルト 第1番
ヘンデル	ヴァイオリンソナタ 第2番・第4番
ベリオ	コンチェルト 第9番
ヴィオッティ	コンチェルト 第23番
J. S. バッハ	コンチェルト 第1番・第2番
モーツァルト	コンチェルト 第3番・第4番・第5番
エックレス	ソナタ ト短調
ラロ	スペイン交響曲 第1楽章

- E. 管楽器 任意の楽曲。

- F. 打楽器 任意の楽曲。

- G. 声楽 下記の楽曲の中から1曲選び、その1番を指定された調性で歌唱する。

- (1) 《ふるさと 高野辰之作詞 岡野貞一作曲》「ト長調」
 (2) 《花 武島羽衣作詞 滝廉太郎作曲》「ト長調」

*伴奏者は本校で用意する。(「ふるさと」は終わりの4小節を前奏とします)
 *演奏はすべて暗譜とする。

課題曲指定楽譜：ドレミ楽譜出版社《日本抒情歌全集1 長田 暁二 編》